



令和四年度 南九州大学・南九州短期大学 入学式 学長式辞

式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。南九州学園の教職員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。また、保護者の皆様に心からお祝いを申し上げます。本日の入学式はコロナ禍の中で人数を制限して行うことになり、保護者の皆様には「Zoom」ライブ配信のみにさせて頂いておりますことをご容赦願います。

さて、南九州大学は、宮崎県内で最初に設立された四年制の私立大学として、五十五年の歴史を刻んでまいりました。その間、着実に発展し、今では、環境園芸学部他に、健康栄養学部と人間発達学部の三学部四学科と大学院 園芸学・食品科学研究科の一研究科を擁し、特色ある教育研究を行っている大学として注目されるようになりました。南九州短期大学は創立五十七年となり、国際教養学科のもとに六つのコースを擁し、時代のニーズを敏感に反映し、注目されております。

大学は、「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人材を育成するとともに、「食・緑・人」に関する専門分野において、社会に貢献寄与できる人材を養成する」という教育理念の下に、それぞれの専門分野の実践的な教育や研究を行っております。短期大学は「思いやりの心を有し、感謝を忘れず、地域社会に貢献しうる品格ある教養人を養成する」という教育理念の下に、幅広い教養を基礎とし、「コミュニケーション能力を備えた社会的に有為な人材を養成しております」。

私達は今、日本や世界が多様な面で急速に変化する時代に生きています。少子高齢化、グローバル化、情報化が進み、環境の激変とともに、価値観や職業の種類も変化してきています。

また、増え続ける世界人口と経済成長の中で、急激に伸び続ける需要に対して、供給が追いつかないという問題が次々と出てきつつあります。このような社会環境においては、「循環型社会を目指す」「サステイナビリティ、つまり持続可能性」という考え方も極めて重要となります。

本学においては、開学以来、自然を大切にし、環境と生命の調和の持続可能な発展を考えて教育・研究し、そしてそれらにやさしい人間性・社会性を育てるという気風が根付いてきております。

大学の卒業生はこれまでに、一人を越えており、短期大学の卒業生は四千人を超えております。卒業生は、本学で培った専門性や人間性を発揮して、社会で活躍しております。

これらの先輩たちは、新入生の皆さんが本学で専門性や人間性を身につけることを期待し、また応援してくれています。先輩たちに見守られているのだということも意識して、これからの学生生活を送って頂きたいと考えております。

さて、新入生の皆さん！これから始まる大学生活についての期待や不安で一杯ではないでしょうか。思い切り大学生活をエンジョイしようと思っている人や、初めて親元を離れて一人暮らしを始める人、大学の勉強についていけるかどうか不安に思っている人、外国から留学した人などいるでしょう。

大学は、自分の関心ある学問分野を徹底的に追求するための高度に専門化された学びの場であることはもちろんですが、自分の考えを形成し、自分の確に判断できる「知恵」を身につける場でもあります。そのため、授業だけでなく、サークル・アルバイト・ボランティアなど多くの場を通して、学友や教職員、その他の多くの人達とコミュニケーションをとり、自由にしっかり考えてゆく習慣をつけて頂きたいと考えております。

長い人生の中で、大学時代ほど自由にものを考え、思い切りやりたいことをやれる時はありません。

皆さんもそれぞれに、目標をもって、自らをしっかり磨いていくことが、充実した学生生活をもたらすことになると思います。

新入生の皆さんには、一年生の時から、将来就職して、社会人として何がしたいのかということを中心に意識し、その目標に向かって着実に自己研鑽を積んで頂きたいと願っております。

さあ、これから南九州大学・南九州短期大学での皆さんの新しい挑戦が始まります。皆さんの前向きな努力や活動をサポートする

ために、我々教職員は最大限の努力を惜しみません。

最後に、全ての新入生にとって、これからの大学生活が、真に実り多きものとなることを心より祈念して、お祝いと歓迎のご挨拶と致します。

令和四年四月五日（火）

南九州大学長

南九州短期大学長 前田 隆昭